

1. 橋梁養成プログラムの概要

1.1 橋梁養成プログラムの目的と意義

橋梁養成プログラムは、愛媛大学で進めている社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座の考え方や手法を四国全域に展開することと、平成 28 年度徳島地域であらたな社会基盤、既存社会基盤の維持管理・補修の計画・設計・実施技術を習得し、地域の活性化に貢献できる人材を育成することを目的として実施したものである。

我が国では、経済成長とともに道路を中心とした多くの社会基盤の整備がなされてきたが、これらの構造物は劣化が促進される傾向にある。そして、少子高齢化に伴い新たな社会基盤の整備、および維持・管理に携わる技術者が不足する傾向にあり、行政と業界双方の技術力を向上させる取り組みが必要不可欠な課題となっている。このような状況下で、社会基盤の構造物の長寿命化を図ることは国の施策として求められており、構造物等の劣化状態を適確に診断し対処できる技術者を育成することは、地域を含め、これからの我が国土を守るためにも橋梁養成プログラムを愛媛以外で実施することは意義のあることである。

1.2 橋梁養成プログラムについて

橋梁養成プログラムは 2 日間の短期の講座であるが、社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座と同じように、管理者 (行政) 側と建設業関連技術者側それぞれの組織の技術者が <同席しながら> 所定のプログラムを行い、共通の維持管理に関する高度な知識を持つ総合技術者の育成を目指している。

今回の橋梁メンテナンスエキスパート養成プログラムは、短期間の講座であるため橋梁に特化したプログラムとし、以下の項目を取り入れたものとした。

- ・社会インフラのアセットマネジメントの考え方
- ・チェックリストに基づく橋梁の適切な点検方法と診断に関する知識
- ・長寿命化の観点からの維持管理の学習と実践

講師陣は、徳島大学工学部理工学科社会基盤デザインコース教員、愛媛大学大学院理工学研究科、愛媛大学防災情報研究センター、香川大学工学部、岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センターの教員に加え、国・県から学外専門家を講師として招いて実施した。橋梁養成プログラムは、11 月 18 日に 31 名、11 月 19 日に 29 名が参加し、両日参加した参加者を修了者とし、28 名に受講証書を発行した。

1.3 カリキュラム

月日	時間	講座名	講師	備考
H28/11/18(金)	1・2 講時(8:40～10:10)	ガイダンス(講座説明、紹介など)・アイスブレイク	徳島大学 橋本親典、 上田隆雄 岐阜大学 (熊田素子) 愛媛大学 森脇亮、全 邦釘	ME
	3・4 講時(10:25～11:55)	橋梁の点検と長寿命化修繕計画	四国地方整備局 徳島県県土整備局	
	5・6 講時(12:50～14:20)	コンクリート橋の構造と劣化	徳島大学 上田隆雄	
	7・8 講時(14:35～16:05)	橋梁のアセットマネジメント	香川大学 岡崎慎一郎	
	9・10 講時(16:20～17:50)	ワークショップ	岐阜大学 沢田和秀、 熊田素子	ME
H28/11/19(土)	1・2 講時(8:40～10:10)	橋梁の非破壊検査	徳島大学 渡邊 健	
	3・4 講時(10:25～11:55)	橋梁の維持管理－点検・評価・対策－	愛媛大学 森伸一郎、 全邦釘	
	5・6 講時(12:50～14:20)	フィールドワーク 橋梁の点検と維持管理	愛媛大学 森伸一郎、 全邦釘	ME
	7・8 講時(14:35～16:05)	ワークショップ 橋梁の点検と維持管理		
	9・10 講時(16:20～17:50)	修了式	徳島大学 橋本親典、 上田隆雄	

※備考の ME は愛媛 ME の会（愛媛大学メンテナンスエキスパート(ME)修了生）が参加しプログラムに協力したことを示す